

第4期豊田市中心市街地活性化基本計画（素案）
パブリックコメントで提出されたご意見と豊田市の考え方について

1 概要

(1) パブリックコメントの実施概要

ア 案件名 第4期豊田市中心市街地活性化基本計画（素案）について

イ 期間 2022年11月1日から2022年11月30日まで

(2) 提出いただいたご意見の状況

ア 提出数

81通（郵便2通、FAX1通、E-mail8通、Eモニター70通）
のべ110件の意見等がありました。

イ 意見の内訳

ご意見を要旨ごとに分類させていただくと、以下のようになりました。

意見の分類	件数
① 基本方針に関すること	20
② 商業に関すること	22
③ 都市施設に関すること	19
④ 交通に関すること	22
⑤ 駐車場に関すること	9
⑥ イベントに関すること	8
⑦ その他	10
合計	110

2 提出された主なご意見と豊田市の考え方

(※ご意見は、趣旨を損なわない範囲で要約してあります)

(1) 基本方針に関する意見等と市の考え

No	意見等の概要	市の考え
1	豊田市の顔として魅力的な場所にしてほしい。	これまで3期にわたり中心市街地活性化に向けた取組を進め、一定の成果を得てきました。豊田市の中心市街地の特徴として、徒歩で移動可能な範囲に百貨店や専門店などが集積した商業機能に加え、図書館、美術館、コンサートホールなどの公共施設がコンパクトに立地している点があります。これらの都市機能は郊外型の大型商業施設には備わっていないものであり、中心市街地全体をひとつのショッピングモールと捉え、住環境にも配慮しながら、豊田市の特徴とまちの総合力を生かして、日常的な来訪や、回遊したくなるまちづくりを行います。居住、商業など課題解決に至っていない分野も多く、引き続き、活性化に向けた取組を継続してまいります。
2	中心市街地の活性化に異議あり。 (中心市街地の一極集中ではなく、多核的な都市構造とすべきである。新型コロナウイルス感染症の流行が懸念されるため、中心市街地の人口密度を高めるべきではない。駅周辺の居住環境について、騒音が気になるため駅周辺に集客施設は作らないでほしい。これ以上の投資をしても中心市街地の活性化は望めない。再開発事業をすべきでない。)	
3	国の進める「補助金に依存しないまちづくり」や「公共空間を利用したにぎわいづくり」、「公民連携によるまちづくり」は豊田市の中心市街地には適合しない。	
4	「にぎわい」の定義を明確にしたほうがよい。 目標指標について、空き店舗数や公共交通などの要素も含め総合的な評価をすべきである。	

		<p>市駅東口駅前広場整備事業や博物館整備事業といった整備事業、豊田市駅周辺地区のエリアマネジメント推進事業などのイベント事業の実施を踏まえて算出しており、定量的な「にぎわい」をフォローアップします。</p> <p>目標指標は設定にあたり「明確かつ具体的であること」「測定可能であること」「達成可能であること」「整合的であること」「期限が明確であること」が求められます。第4期中心市街地活性化基本計画では、5つの方針と目標に対して、それら条件を満たす「居住人口の社会増減数」、「歩行者通行量（休日）」、「創業者数」の3指標を設定し、総合的に評価を行います。</p>
5	<p>専門的な民間事業者にまちづくりを進めてほしい。</p>	<p>豊田市では、平成30年に一般社団法人TCCMを都市再生推進法人に指定しました。一般社団法人TCCMは公益性を持ったまちづくり組織として、遊休不動産の利活用や中心市街地の活性化に寄与する事業を実施していきます。</p>

(2) 商業に関する意見等と市の考え

No	意見等の概要	市の考え
1	<p>魅力的な商業施設がほしい。 (個性的な店、小さな流行りの店、人気の大型商業施設、中心市街地以外に店舗を構える人気店、ランチを提供する店、手土産やプレゼントが買える店、ゲームソフトが買える店、水族館や飲食店で構成されたビル)</p>	<p>本市の人口規模に相応しい商業の魅力づくりを推進するため、広域集客を目指すとともに、普段づかいのできる商業機能の充実を図ります。</p> <p>魅力的な商業施設については、中心市街地の大型商業施設が一体となってひとつの商業モールとして機能するようなテナントリーシングやテナントミックスを進めます。そして、不足する業種等、普段づかいのできる商業機能を拡充します。出店したくなる環境づくりや店舗誘致を</p>
2	<p>豊田市駅周辺の市場性が低い原因は駅の乗降客数が少ないため。行政主導で乗降客数の少ないエリアを再開発し発展させようとしているため、民間だけの力では活性化は難しい。集客のある公共施設やイ</p>	<p>推進する体制づくりに取り組み、大型商業施設を中心としたテナントミックスプロジェクトや商店街等の商業機能の充実に向けた支援をしていきます。</p> <p>また、豊田市駅の乗降客数を増やすには、鉄道を利用して訪れる目的地の創出、名古屋市等に通勤する人の住宅の整備、駅の乗換利便性の向</p>

	ベントだけでなく、行政が積極的に補助をして、魅力ある店舗を増やすことが必要。	上等が重要と考えます。そのため、本計画では、博物館の整備、未利用地を活用した共同住宅等の誘導、豊田市駅バス停留所施設等を必要な施策として掲載しています。
3	高齢化が進み、車に乗れない高齢者が増加するため、小売店の充実が必要。	

(3) 都市施設に関する意見等と市の考え

No	意見等の概要	市の考え
1	魅力的な駅前広場にしてほしい。(子連れで買い物帰りにくつろげる空間、中高生が集まる居場所、広々とした空間、緑化と花飾り及び維持管理に必要なインフラ、待ち合わせの目印、ラジオスタジオ)	豊田市の玄関口となる豊田市駅東口駅前広場には、芝生やベンチ、飲食できるスペースなど、中心市街地に来た人が憩い、くつろげる機能を配置し、まちの魅力の発信や日常のにぎわいが生まれる空間整備を進めます。
2	駅や豊田スタジアムなど主要な都市施設が点在しており繋がっていない。駅と(仮)豊田市博物館を結ぶ道路を、看板の設置や舗装し、魅力的な通りにしてほしい。	鉄道駅やバス停から美術館や豊田スタジアム等への歩行者動線には、統一したサイン案内看板を設置し、アクセス性の向上を図ります。
3	雨の日でも移動しやすいようペDESTリアンデッキや屋根を整備してほしい。 にぎわいと利便性の向上のため、豊田市駅東口に、駅西口同様に再開発施設を往来できるペDESTリアンデッキを整備してほしい。	豊田市駅東口駅前広場の整備では、歩きやすくにぎわいを創出する歩行者空間とするため、車両交通と交錯しない施設配置とし、周辺の公共・商業施設が利用しやすいグランドレベル(地上)を歩いて移動できることを基本的な考え方としています。
4	関係する工事について、短い工期で安全に実施してほしい。	豊田市駅周辺の都市施設整備に向け、エリア全体の効率的・合理的な施工計画により、施設利用者の安全な歩行者動線を確保しつつ、工期短縮を図り施設利用者への影響を低減していきます。
5	豊田市駅駅舎を早く再整備してほしい。	名鉄豊田市駅の駅舎は、駅機能の強化や利便性向上に向け、北改札の新設、耐震化等の工事を

		予定しており、早期整備完了に向けて鉄道事業者と連携を図り、進めていきます。
6	樹木を増やし、憩いの場を設けてほしい。	豊田市駅の東西は、豊田市緑の基本計画において、「緑の環境都市軸」に位置付けられており、都市施設整備では、樹木や芝生などの緑を活用し、憩いの場の創出、景観向上、人の滞留促進を図ります。

(4) 交通に関する意見等と市の考え

No	意見等の概要	市の考え
1	公共交通機関（バス、電車）の利便性を高めてほしい。 （平日と休日の利用者特性に合わせたバスの運行ルートの改善、高齢者の増加を想定したバスの充実、清潔感のあるバス停留所の整備、福祉施設を重点的に巡回するバスの運行）	鉄道・バス事業者や関係機関の協力を得ながら、課題・必要性・事業費等を総合的に判断し、優先順位に応じて環境整備やルート改編等を行っていきます。
2	バス停留所について、既存の名鉄豊田市駅東側の利用者は利便性が下がるため、名鉄豊田市駅東側に駅直結で停留所を設けてほしい。	交通の実証実験では、東口でのバス乗降場所の要望が一定数あったことから、西口集約を進めていく中で、バス利用者への影響等を考慮し、設置に関する検討や関係機関等との協議を進めていく。
3	名鉄豊田市駅への一般車両の送迎について、現在は利便性が悪いと一般乗降場を設けてほしい。	豊田市駅東口駅前広場内に整備する新たなロータリーは、現況の利用台数等も踏まえ、身障者用、一般車の停車帯やタクシー乗り場を設置します。
4	公共交通機関を利用した際に特典（中心市街地の店舗で利用できる商品券の配布など）を付与してほしい。	中心市街地の活性化に加え公共交通の利用促進も図れるよう連携を検討していきます。
5	名鉄電車について急行を走らせてほしい。 駅から美術館まで距離があるため、愛知環状鉄道に最寄り駅を新設してほしい。	名古屋へのアクセス性向上は重要と考えているため、鉄道事業者と協議調整を進めてまいります。 豊田市駅から美術館までの移動につきましては、名鉄バス（株）が運行する路線バスをご利

		用ください。
6	一般車両の交通について、駅への送迎と南北の通過の移動が混在しているため、分離してスムーズに通行できるようにしてほしい。	豊田市駅東口駅前広場内に整備するロータリーは、南北の通り抜けができない形状とし、送迎車両と通過交通が輻輳しないようにしていきます。

(5) 駐車場に関する意見等と市の考え

No	意見等の概要	市の考え
1	駐車場を増やしてほしい。	<p>駐車場事業として、現在、全体で約4,400台のフリーパーキング加盟駐車場があります。第3期中心市街地活性化基本計画の目標指標に、フリーパーキング対象駐車場の総利用時間がありますが、700万時間の目標に対して、令和3年度は426万時間、コロナ前の平成30年度は645万時間でした。</p> <p>フリーパーキング駐車場の稼働状況を駐車場の駐車スペースに車がとめられている割合で見ると、日中、ほぼ満車状態にある駐車場もありますが、10時から20時の間の全駐車場の状況は、平均すると約6割となっております。</p> <p>参合館駐車場やギャザ駐車場、コモパーキング、新豊田駅西駐車場など利用が高く、昭和町駐車場や若宮駐車場、元城駐車場などは比較的利用が低いなど、利用状況に差は見られます。</p> <p>また、平成30年度に実施した都心駐車場利用動向調査によりますと、中心市街地への来訪者が都心環境計画に掲げる将来目標値を達成した場合においても、現在の駐車台数で充足するという結果となっております。</p> <p>引き続き、駐車場利用の平準化や利便性の向上に向けた駐車場事業の検討を進めます。</p>
2	歩行者通行量や駐車場利用時間が目標値に達していない原因は、新型コロナウイルスの影響だけではなく、フリーパーキング制度に問題があるか	<p>駐車場利用者は令和3年度には増加傾向となっております。「駐車場利便性向上事業」により計画的に駐車場の修繕・改修工事を進め、利便性を向上し、利用者増を図ります。</p>

	らではないか。	
3	フリーパーキング 5 時間サービス駐車場の対象駐車場や認証施設を増やしてほしい。	駐車場によって利用状況に差があることから、駐車場の誘導方法やシステムの見直しを図り、駐車場利用の平準化や利便性向上を図ります。

(6) イベントに関する意見等と市の考え

No	意見等の概要	市の考え
1	魅力的なイベントを開催してほしい。(エコフルタウンでの定期的なイベント、ゲーム大会、ご当地アイドルの参合館の活用、再開発ビルの壁面を利用したプロジェクションマッピング)	第3期計画期間中は、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、豊田おいでんまつりをはじめとした従来の大型イベントが中止や縮小などを余儀なくされました。新型コロナウイルス感染症に対する社会の考え方も変わる中で、市としても魅力的なイベントを開催していきたいと考えています。また、地域商業者、公共施設、メディア関係者等で構成する「中心市街地まちなか宣伝会議」や、「エリアマネジメント研究会」「都市再生推進法人 一般社団法人 TCCM」を中心に民間主導で魅力的な集客イベントを実施し、中心市街地のオープンスペースを有効活用し、市も支援していきます。 令和5年度は豊田市が「ラリージャパン2023」の主催者として、市民の皆様と共に大会を盛り上げてまいりたいと考えています。
2	豊田市の活性化の施策はWRC やサッカーなどイベントを中心とした施策が多く、根本的な施策がされていないと感じる。イベント事業は費用対効果を検証し、テナント誘致等の課題にも目を向けるべきである。	本計画の目標指標である「歩行者通行量(休日)」により、イベント実施による歩行者通行量の変化など事業実施効果を把握します。 また、テナント誘致については、中心市街地の大型商業施設が一体となってひとつの商業モールとして機能するようなテナントリーシングやテナントミックスを進めます。そして、不足する業種等、普段づかいのできる商業機能を拡充します。出店したくなる環境づくりや店舗誘致を推進する体制づくりに取り組み、大型商業施設を中心としたテナントミックスプロジェクトや商店街等の商業機能の充実に向けた支援をしていきます。
3	公共施設は充実しているが、	「中心市街地まちなか宣伝会議」、「エリアマネ

	ソフト面で施設を有効活用できていないため、NPO等と連携した活性化の仕組みづくりが重要。	ジメント研究会」、「都市再生推進法人 一般社団法人 TCCM」を中心とした、民間主導による中心市街地の施設を活用した魅力的な集客イベントを企画・実施します。
--	--	--

(7) その他に関する意見等と市の考え

No	意見等の概要	市の考え
1	子育て支援を充実してほしい。子どもの遊び場を増やしてほしい。	子育て総合支援センターあいあいを中心に、子どもの遊び場づくりや子育て支援を実施しています。また「豊田市駅東口駅前広場整備事業」「豊田市駅西口ペDESTリアンデッキ整備事業」では、子育て世代が利用しやすい施設整備を進めます。
2	事業所等を誘致し、中心市街地の就労人口を増加させることが重要。	計画では、目標に「教育機関や企業と連携した新たなまちづくり」を、目標指標に「創業者数」を設定しています。「とよた創業塾」の実施や「ものづくり創造拠点 SENTAN」の運営など、ハード・ソフト両面による創業支援を図り、就労人口の増加を図ります。
3	単身者が増加傾向であるため賃貸物件を増やしてほしい。	市場ニーズを確認しながら賃貸、分譲に限らず民間共同住宅の供給促進に取り組んでいきます。